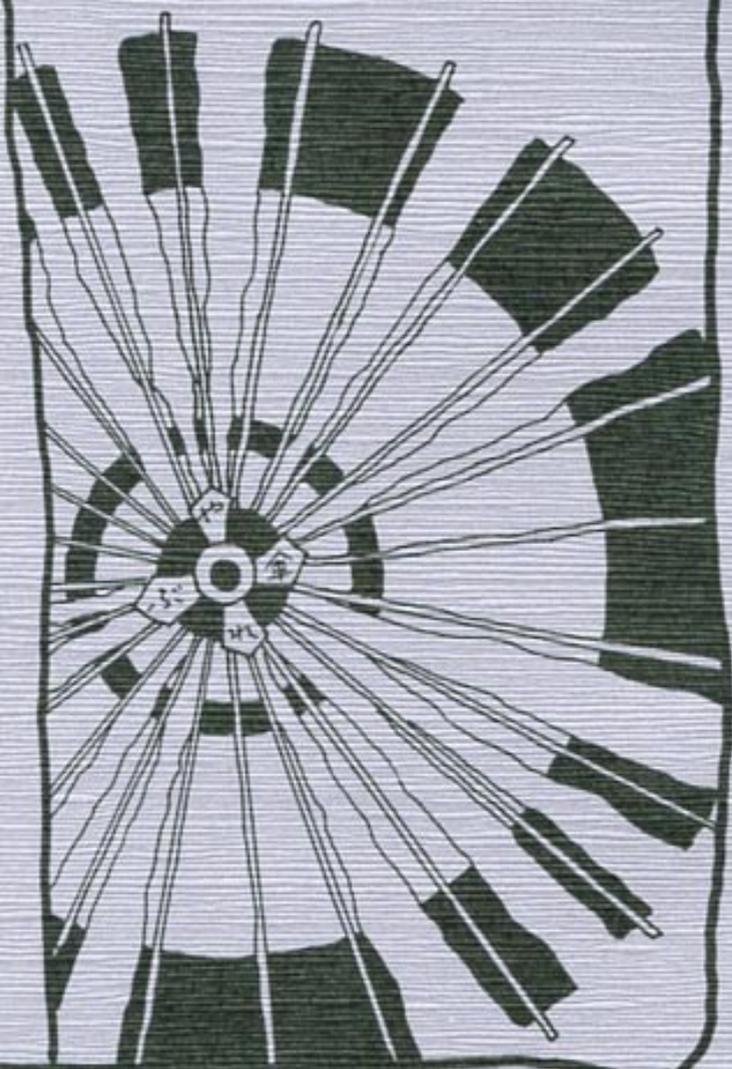


やぶれ傘



四十八号

二〇〇九年六月

花屑の乾いてゐたる水位標	根橋宏次
浮雲は家鴨の形豆の花	大島英昭
海へ向け魚干さるる花菜漬	きくちきみえ
藪椿瓦は雨にぬれながら	藤井美晴
川沿ひに毛 <small>うまのあしがた</small> 蓂芽を並べ	天野美登里
シャベルカーのシャベルで杭をつくしんぼ	丑久保 勲
鯛焼を裏返しけり鯛焼屋	瀬島洒望
横積みの蛇籠に止まる花筏	廣瀬雅男
お団子にだんごを乗せる春彼岸	白石正躬
目借時背表紙に見る金の文字	安藤久美子
享保雛飾る山家に灯の入りて	國保八江
影長き織部灯籠竹の秋	渡邊孝彦
永き日の一人居の茶を淹れにけり	有賀昌子
道場に吠えてゐるなり花の頃	松村光典
ちちははに逢ふかも知れず花の闇	秋葉貞子

抄 集 句 選 夫 紀 崎 大 傘 ぶ れ や

蓬摘む人に土筆を分けにけり	浅嶋 肇
畑に行く山路懸りに迎春花	石原健二
道に出て驚き易き雀の子	岩藤礼子
蝌蚪の紐を皆で見えてゐる日曜日	菊地葉子
老樹芽吹ぐ四圍に鎖をめぐらせて	久世孝雄
すかんぼに雲の明るさ軽さかな	忽那みさ子
初蝶や日のよく当る喫茶店	齋藤朋子
日の丸のはためいてゐる春競馬	佐藤泰秀
せせらぎに春すこしあり座禪草	高柳正幸
畦焼きの烟りを残し日の暮るる	時田義勝
餅背負ひ踏ん張る一歳梅匂ふ	中村則夫
花鎮め舞ひの少女の昇殿す	橋本美代
舗装路の亀裂に草の芽生えかな	濱野 新
朝採りの筍を売る指太し	平岡かづお
野遊びのいつしか海へ出でにけり	松本正生

ぎしぎし

大崎紀夫

雛の間の灯は日もすがら夜もすがら
ふつふつと小穴息する干潟暮る
明日葉の先の石垣崩えしまま
桃の花道は雁坂峠へと
苗木売り時に紫煙の輪を吐いて

海をくる雲はきれぎれ花なづな

土手に出て向う岸見る日永かな

せせらぎは夜の底より木の芽和

墨堤に夕日夕風さくら散る

花こぼれくるひとときを佇ちゐたる

ぎしぎしや道に長靴跡つづき

参道はこれより磴に濃山吹

花 屑

根橋宏次

青 鰻 や し づ く に か は る 軒 の 雨
空 舟 の 渡 し の 戻 る 猫 柳
畦 の 木 の 並 ぶ あ た り の か ぎ ろ へ る
春 泥 に い ち 枚 渡 す 歩 み 板
春 風 や 絵 図 面 か こ む 仏 師 た ち
花 屑 の 乾 い て ゐ た る 水 位 標
腰 に く る 土 の で こ ぼ こ 花 筵
さ ざ な み の 押 し 返 し ゐ る 花 筏
雨 粒 に 弾 か れ て ゐ る 堇 か な
堰 に き て 水 の た ひ ら や 花 は こ べ

豆の花

大島英昭

春陰や池のくびれに木の小橋
菜園で道はをはれり花なづな
童顔の仁王なりけり黄水仙
白蓮や転勤花と呼びあしが
花散るや湖の向かうに上り坂
浮雲は家鴨の形豆の花
電動の石臼まはる春の昼
弁天の小社杉菜生ひにけり
水音のなか杉菜接ぐ遊びなど
白牡丹もじやもじやしたる庭隅に

花菜漬

きくちきみえ

海へ向け魚干さるる花菜漬
雛壇のさらに下座に侍るかな
お花見の向う岸より暮れにけり
烏鳴くやうやう春は曙に
新じやがの歪に動く鍋の中
春雨のしだいに消ゆる水面かな
文庫本廁にありぬ目借時
猿山といはれ野蒜の採り放題
躓いてよりのでこぼこ春の野に
磴逸れるあたりに二人静かな

藪 椿

藤井美晴

雨 け ぶ る 奥 なる 乙 女 椿 かな
街 騒 を 遠 くに した る 紫 木 蓮
藪 椿 瓦 は 雨 に ぬ れ なが ら
石 菫^{つわぶき} の 和 毛^{にこげ} に 春 の 日 差 し かな
白 檉 の 葉 越 し の 春 の 夕 焼 け かな
白^{しらくも} 雲 の 漂 ひ 来 り 行 き て 春
夕 暮 れ を 仰 げ ば 白 き 桜 かな
大 空 に は ん て ん ぼ く の 芽 吹 き かな
葉 桜 と な り て 近 し き 向 う 岸
楠 若 葉 博 物 館 の 壁 を 背 に

毛うまのあしがた
苜うまのあしがた

天野美登里

白梅のにほふ石坂のぼりけり
春昼の煙突煉瓦造りかな
水底に流れありけり蘆の角
川沿ひに毛うまのあしがた苜うまのあしがた芽を並べ
木の芽あへ盛る現うつつがわ川焼きにかな
鍋敷は土鍋の蓋や葦雑炊
花明りゆるりと始発電車かな
木の影をつついて春の三十三才
草木瓜の花に夕暮ありにけり
春昼の平積み高き本屋かな

つくしんぼ

丑久保 勲

武蔵野は晴れば風やいぬふぐり
駅弁の懸紙はがす梅見かな
刷毛でぬるペンキの匂ひ春の風
シヤベルカーのシヤベルで杭をつくしんぼ
白木蓮ふとん叩きを入念に
ビールケースを天地逆さに花の宴
花屑の中を飛び石伝ひして
花冷えやつるりと光る牛の像
額の絵を提げて家路へ卒業子
で一尺掘つて苗木植う

◇7～8月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
7月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	大島英昭
	5日(日)	PM2:00	うらら会	割烹・千代田	瀬島 孟
	6日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	大島英昭
	7日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	25日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	26日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
8月	3日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	大島英昭
	4日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	4日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	7日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	7日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	大島英昭
	15日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	16日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	鎌倉・妙本寺 他	丑久保 勲
	22日(土)	AM10:00	楽天会	戸田市中央公民館	廣瀬雅男
	23日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	26日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP

(注) 三斗会は今後毎月第4水曜日になります。

8月16日(日)の吟行。集合は10時。JR横須賀線・鎌倉駅東口改札口
(進行方向左側)。吟行地:妙本寺(鎌倉駅から徒歩7分)他。句会場:
鎌倉市生涯学習センター(駅前)。

◎連絡先 瀬島 孟 ☎048-862-2757 藤井美晴 ☎0422-55-2733
大島英昭 ☎048-592-5041 WEP編集室 ☎03-5368-1870
廣瀬雅男 ☎048-443-7522 浦和コミセン ☎048-887-6565
丑久保 勲 ☎048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ